

\*\*\*\*\*

やらまいか@gri forest ニュース 341号  
(2023年12月1日配信)

\*\*\*\*\*

## 【目次】

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- 1 畜産堆肥展示会の開催について
- 2 「グリーンな栽培体系の取組報告会」の開催について
- 3 「農業水利施設における外来生物対策セミナー」の開催について

### ■--お知らせ--■□■□■

- ・Webマガジン「a f f」10月号について

### ■--西部農林活動リポート--■□■□■

- ・西部農林活動リポート（10・11月）

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

#### 1 畜産堆肥展示会の開催について

肥料代の削減に堆肥の利用を考えてみませんか？  
相談会も併せて開催されますので希望者はお気軽にご参加ください。

#### ●実施日時等について

##### <第1回>

- ・日時 12月4日（月）13：00～16：00
- ・会場 JAとびあ浜松北地区支店 会議室（浜松市西区伊左地町21）
- ・講演会 畜産堆肥について（13：30～13：50）
- ・講師 静岡県畜産技術研究所 飼料環境科 佐藤克昭科長

##### <第2回>

- ・日時 12月12日（火）13：00～16：00
- ・会場 JAとびあ浜松湖西営農センター 会議室（湖西市新所5225）
- ・講演会 畜産堆肥について（13：30～13：50）
- ・講師 静岡県畜産技術研究所 飼料環境科 佐藤克昭科長

#### ●相談会について

相談会も併せて開催されます（14：00～15：00）

#### ●申込みについて

事前申込み不要

●問合せ先  
静岡県西部農林事務所 企画経営課  
TEL 053-458-7209

---

## 2 「グリーンな栽培体系の取組報告会」の開催について

---

農林水産省は、「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を組み合わせた「グリーンな栽培体系」の関連講演や産地の取組を学べる報告会を令和5年12月14日（木）にオンラインで開催します。

「国内資源等を活用した化学肥料の削減」、「土壌消毒の代替技術」、「プラスチック被覆肥料の代替技術」、「J-クレジットに関する技術」の講演のほか、「グリーンな栽培体系の転換サポート事業」を活用している各産地が取組状況を報告します。  
参加は無料です。

●開催日時  
令和5年12月14日（木）10時30分から17時05分まで

●内容  
(1)情報提供  
(2)それぞれのテーマについての関連講演、取組報告  
テーマ  
・国内資源等を活用した化学肥料の削減  
・土壌消毒の代替技術  
・プラスチック被覆肥料の代替技術  
・J-クレジットに関する技術

●申込締切  
令和5年12月8日（金）

●配信形式  
Zoomウェビナー、YouTubeライブ（後日、YouTubeで配信されます）

●申込み方法等の詳細は以下のページを御参照ください。  
（リンク先：農林水産省HP）  
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/gizyutu/231116.html>

---

## 3 「農業水利施設における外来生物対策セミナー」の開催について

---

農林水産省は、令和5年12月7日（木）に「農業水利施設における外来生物対策セミナー～侵略的な水生外来植物による通水阻害の脅威と今後の取組～」をオンラインで開催します。

本セミナーでは、水生外来植物による農業水利施設における通水阻害の実態や効果的な対策などの紹介を通じ、水生外来生物対策を進める上での一助となる情報が発信されます。  
参加は無料です。

●開催日時  
令和5年12月7日（木）14時00分から16時00分まで

●内容

(1) 挨拶

(2) 講演（質疑応答含む）

- ・農林水産省における農業水利施設の外来生物対策
- ・農村協働による外来生物の防除
- ・農業水利施設における外来水生植物に対する千葉県の取り組み
- ・わが国の農業水利施設において通水阻害等を引き起こす外来生物とその対策について
- ・特定外来生物の防除に係る責務規定及び支援策について

●申込締切

令和5年12月5日（火）17時00分

●配信方法

オンライン（Webex）形式

●申込み方法等の詳細は以下のページを御参照ください。

（リンク先：農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/231107.html>

■--お知らせ--■□■□■

---

・Webマガジン「a f f」10月号について

---

「a f f（あふ）」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者、そして農林水産省を結ぶWebマガジンです。

農林水産省が編集・発行し、株式会社角川アスキー総合研究所が編集協力しています。

【10月号PDF版のURL】

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2310/pdf/aff2310-all.pdf>

(1) 特集「減らそう 「食品ロス」

売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

食べられる食品を捨ててしまうことは、“もったいない”だけでなく、環境や経済に関わる問題もはらんでいます。

食品ロスの現状について知り、私たちに何ができるのか考えてみましょう。

<内容>

- ・食品ロスって何が問題なの？
- ・「もったいない」を大変革！
- ・今日からできる食品ロス削減運動
- ・おいしく食べきる！食品ロス削減レシピ

(2) 連載「旅する農業遺産」

<埼玉県 世界農業遺産・日本農業遺産「大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法」>

武蔵野地域は江戸時代に、隣接する江戸の町の人口増加による食糧不足を補うために開拓が行われました。

この地域はもともと、関東ローム層といって火山灰に覆われた作物が育ちにくい土地でした。

そこで生み出されたのが、草原に木々を植えて平地林を作り出し、その落ち葉を集めて堆肥

